

第25回 技術報告会 静岡大学技術部長 挨拶

| | |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 木村, 雅和 メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/10297/00027069 |

第 25 回 技術報告会 静岡大学技術部長 挨拶

技術部長 木村 雅和

第 25 回となりました技術報告会の開催ですが、学長挨拶にもありますが、今回特に他大学から多くの皆様にご参加いただきまして誠にありがとうございます。この技術報告会は、技術部が企画・運営をして、成果が形となって残るということで、非常に意義のある会であると認識しております。また、この場で多くの若手の技術職員の皆さんに発表していただくということは、大変頼もしく思っておりますし、これを機に更に大きく成長されること期待しております。

毎年のことですが、要旨集を拝見いたしますと、実に多様な技術発表が行われます。これは静岡大学の教育・研究を支える技術のポテンシャルの高さと、技術職員の皆さんが、学内外において多くの場面で貢献されているということの表れであると確信しております。

皆さんご存じのように、学長挨拶にもありますが、技術部は平成 30 年に全学支援を意識した形で改組を行いました。当初は若干戸惑われる部分もあったと思いますが、技術部が一つにまとまり、静岡大学の大きな力になると思います。現在は更に、非常に大きな連携の計画が進んでおりますが、研究・教育・地域貢献を柱に静岡大学のみならず、近隣あるいは全国の大学等と連携することにより、新しい何かを生み出すことができる組織に発展するよう、これからの技術部に大いに期待をしております。

この機会をぜひ生かしていただいて、技術職員相互の情報交換や、他大学の皆さんとの交流を深めていただきまして、第 25 回目の技術報告会が有意義な会となりますことを祈念して、簡単ではございますけれども、私からのあいさつとさせていただきます。